

ムソリスク雑作業

復員年月 昭和二十四年八月十五日、舞鶴上

陸

復員後の職歴 商店 スーパー経営、現在に至る

(静岡県 熊谷 精一)

シベリア哀歌

奈良県 川端 真一郎

理不尽に襲ふやはげし北おろし

雪原を北へ北へと俘虜の貨車

容赦なくシベリア吹雪俘虜を打つ

吐く息の髭に氷柱となりいたり

地吹雪や前ゆく兵に確かと躡つき

呼び交はす声凍てつくり伐採林

凍てし樹の斧はね返すこだまかな

凍て土に戦友葬りし日の無口

望郷の涙こらへて年迎ふ

作業場へ木沓のすべる雪解道

里人の情けにふるる雪間かな

春幾たび帰国の噂流れては

月おぼろ帰国のうわさ立ち消えて

春愁といふにはあらずただ怠惰

行く春や軍歌に替へて労働歌

緑陰に寸時の憩ひ虜囚われ

俘虜の身の日々の哀歎地虫鳴く

一片の黒パンに露命ながらへし

ノルマーを果してつるべ落しかな

秋逝きて明日なきわれと思ひけり

望楼の月に歩哨の影うごく

飢餓に耐へ屈辱に耐へ木の葉髪

名ばかりのシベリアの秋互てきざす

吹き晴れし夜や望郷の寒すばる

虎落笛底の戦友の哭く声か

日向ぼこ諦観の日々重ねあて

長き夜の夢ふるさとがちちははが

夏霞む引揚船の日章旗

帰国後の生活あれこれ蚊遣香

巡り来て悲憤あらたや敗戦忌

昭和二十年十一月五日ソ連タシケント地区第五分
所に収容

昭和二十三年七月十七日舞鶴に上陸復員

復員後定年までコスモ石油株に勤務

現在「俳句三の丸」を主宰

(大阪府 杉山 森一郎)

【執筆者の紹介】

生年月日 大正十一年二月十四日

学 歴

在滿教務部新京中学校を経て昭和十五年三月旅順

工科大学技術員養成所機械科を卒業

満州合成燃料株式会社に入社

兵 役

昭和十八年二月熱河省承德独立守備歩兵第一三大
隊に現地入隊

昭和二十年七月歩兵第二四〇連隊を経て奉天省遼

陽歩兵第三七二連隊に転属 終戦時陸軍少尉

昭和二十年八月二十一日奉天にてソ連軍により武

装解除